

【アルキメデスレスリング選手権大会】開催の主旨

「アルキメデスレスリング選手権大会」の由来

我に槌(てこ)を与えよ。然らば地球を動かさん

ギリシャの物理学者であり哲学者のアルキメデスの言葉です。小さなきっかけでも大きな飛躍を生むことができるとの誓です。

大学入学後、レスリングを始めた者だけのこの大会の名称は、少しでも試合の機会を得、戦い、勝つことで自信を持たば一流選手に育っていくのだとの熱い思いで、その志にぴったりだと挙げて推したネーミングです。また、アルキメデスには王冠の金の含有量を見つけ出したという逸話もあります。この大会の出場者からキラリと光る有望選手を見出し、世界に羽ばたいてもらおうとの願いも込められています。

さて、本年度で第17回を迎えます「アルキメデスレスリング選手権大会」は、西日本学生レスリング連盟の後援をいただいて開催されています。加盟校の多くは、新入生の入学期には学内において勧誘活動を展開しますが思うように入部者を獲得することは出来ず、また、せっかく入部してきた部員も、ちびっこや中学・高校でのレスリング経験者との実力差が大きく、多くの者は1・2年生の時期に試合で勝利を手にするのは稀でした。また、その事を起因としてレスリング競技を大学から取り組もうと、せっかく入部してきた部員が退部する例も散見されます。「レスリング」と言う競技の普及・拡大もこの大会の大きな存在意義なのです。西日本学生レスリング連盟傘下に於いても新加盟校も徐々に増えてはおりますが、その一方、過去に脱退校も数多く存在いたします。大学から競技を始めても、身体や精神を鍛えて楽しめる「学生スポーツ」の在り方をこの大会を通じて提案したいと思います。さらに、彼らが社会に出て、指導者としてレスリングの普及に取り組む様なことがあれば、それは大きな副産物です。

この様な理念の下、「アルキメデスレスリング選手権大会」として西日本学生レスリング連盟に加盟する大学に広く参加を求め、拡大と発展を図りたいと思います。多数の参加者を募ると同時に各大学の新入部員獲得に尽力くださる様、又大会が末永く継続できます様にご協力くださいますようお願い申し上げます。

最後に、本大会への出場をひとつの契機として、各大学の部員がさらなる奮起をし、レスリング競技を通じて強くなることは基より礼節を学び、立派な社会人になるべく各自の学生生活をより有意義なものとしてもらえるならば、主催者としてこれにまさる喜びはありません。

平成30年7月吉日

アルキメデスレスリング大会実行委員長
川端 正昭 (同志社大学レスリング部OB OG会長)